

第2回「北九州市地球温暖化対策実行計画の改定検討部会」の 結果について（報告）

1 開催概要

- (1) 日時・場所：令和2年12月11日（金） 15:00～16:30
ホテルクラウンパレス小倉
- (2) 部会委員：別添「委員名簿」のとおり

2 議事

- (1) 現行計画の総括
- (2) 市政モニターアンケート
- (3) 北九州市地球温暖化対策実行計画の改定について
- ・計画骨子（計画の構成、基本的事項と考え方）
 - ・目標（案）（2050年、2030年度）
 - ・取組みの方向性と部門別の取組み（2050年に目指す姿、2030年度までの取組み）

3 部会委員の主なご意見

- (1) 2050年の目指すべき姿に関すること
- ・2050年までの長期的な視点の中での10年として、2030年度を捉えた方が、市民がくらしに沿って考えるきっかけになる。
 - ・『北九州モデル』は、「環境・市民・経済の好循環」というイメージで、市民が主要なプレイヤーになるような計画を期待している。
- (2) 2030年度までの部門別の取組みに関すること
- ・産業界も、国と同じように2050年の実質ゼロを目指して動いていくため、産業都市の本市もその流れと歩調を合わせて対策を講じていけば良い。
 - ・公共交通の利用促進は高齢化対策としても重要であり、自動車の保有台数を減らしても過ごせる社会の構築が必要である。
- (3) 周知啓発、PDCAに関すること
- ・計画は施策の羅列になりがちであるが、市民に理解してもらうためには、イメージの可視化・共有化が大切である。
 - ・2030年度の目標は、一定の前提の下での推計に基づくものであるが、今後、個別の施策だけでなく、前提条件も含めて進捗管理を細かく行うことで、2050年に向けてより良い計画になる。
- (4) デジタル化に関すること
- ・国が成長戦略の柱として掲げるデジタル化についても、地球温暖化対策に資する取組みとして、市庁舎のショールーム化も含めて、計画に反映してもらいたい。

- <添付資料>
- ・「北九州市地球温暖化対策実行計画の改定検討部会」委員名簿
 - ・第2回「北九州市地球温暖化対策実行計画の改定検討部会」資料1～4